

2023年度 地域移行部会（枚方市知的障害者福祉ネットワーク活動より） 活動報告

1. はじめに

今年度の主な取り組み

社会福祉法人の事業所間や地域との連携強化、グループホームの支援のあり方、知的に障害のある方への理解を広めるための啓発活動などを中心に行いました。

月1回開催している生活部会では、知的に障害のある方のグループホームにおいて、高齢化に伴う支援のあり方や日中の過ごし方など、事例を交えながら検討を重ねました。

啓発活動では知的に障害のある方の理解を広めるためにチラシを作成し、当事者も含め枚方市駅周辺でチラシ配りをおこないました。

2. 知的ネットワーク活動

開催日	内 容	場 所 参加人数
5/17(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「2023年度の枚方市における障害福祉施策について」 講師：障害企画課・峻課長代理、障害支援課・西中課長代理 ・2023年度の予定と方針について ・自立支援協議会より 	ラポールひらかた 職員 16人
6/21(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスが5類に移行して 新型コロナウイルス感染拡大に伴ってどのような課題が発生し 対応されたか事例を報告し共有する ・教育現場の実情を報告 枚方支援学校の取り組みから 	ラポールひらかた 職員 16人
8/23(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者や家族の高齢化の課題 ・家族からの支援協力が難しい当事者の課題について ・とくふうホーム 見学 	とくふうホーム 職員 15人
9/20(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ研修会「重層的支援について」 枚方市社会福祉協議会 地域福祉課：松下 友紀 氏 ・ひらかたくすの木 見学 	ひらかたくすの木 職員 16人
11/15(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・本人部会 テーマ：私の施設の自治活動 ～意思決定支援について～ 「ここがうちのすごいところ！」 	ラポールひらかた 利用者 9人 職員 9人
12/20(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会 事業所発表及びグループワーク 日中活動のあり方 ～私たちの施設の大切にしていること～ (とうかえで) (ワークショップ虹) 	ラポールひらかた 職員 30人
1/17(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの事例検討 生活部会より 「各事業所での課題と思われるケースを共有し、 事例検討・情報交換を実施」 	ラポールひらかた 職員 13人

開催日	内 容	場 所 参加人数
2/21(水) (開催予定)	・本人部会 テーマ 「障害のある人を悪徳商法から守るために！」(仮)	ラポールひらかた
3/13(水) (開催予定)	・枚方市社会福祉審議会障害福祉専門分科会 報告 ・枚方市障害者自立支援協議会全体会 報告 ・障害福祉施策についての情報提供 ・2023年度活動報告(定例会・生活部会)	ラポールひらかた

3. 生活部会

開催回数 12回(月1回)予定を含む

見えてきた課題

- 高齢期における支援のあり方、入院時の対応
- 強度行動障害のある方のGHでの環境整備の限界など
- 365日24時間対応のニーズが高まるなかどこまで対応が可能か
- 地域で自分らしく生活していくために必要なものは何か

4. 全体課題

○福祉職の人材不足

→どの職種でも人材は不足しているが、世話人、ホームヘルパー、ガイドヘルパー、相談員など、福祉における現場の人材不足は大きい。

○感染症拡大を防ぐために事前にできること

○災害時の対応について